

第 34 回 日本診療放射線技師学会 参加報告

札幌医科大学附属病院 平野 透

9月21日(金)～9月23日(日)に下関市において第34回日本診療放射線技師学会・第6回アジア放射線治療シンポジウムが開催されました。今回も技師会の事業である画像等手術支援分科会のハンズオンセミナーやシンポジウムの業務のため参加してきました。そこで今回もハンズオンセミナーについて報告致します。ハンズオンセミナーは初日の9月21日の午前10:30～12:00と15:30～17:00の2回開催し、整形領域・頭部領域・腹部領域での手術支援画像作成方法などを解説しました。当初午前は整形・頭部、午後は頭部・腹部の構成を考えていたのですが、午前・午後の異なる受講者に平等な内容を受講してもらうために、3領域全てを両時間帯とも解説することにしました。午前・午後とも募集参加者20名が予約完了し、当日は多くの傍観者(会場が狭くて多くに見えたのかもしれませんが、)も手術支援画像作成を勉強されていました。今年度は昨年ハンズオンセミナーでの不備などの反省から、前日に講師による本番と同じ内容でのリハーサルを行い、模擬受講者のチューターから手順の確認や講師の解説の仕方など十分な打ち合わせ、さらに受講者には各領域での処理方法に関するテキストを配布するなど、まだまだ反省点はありますが、判りやすいセミナーになるよう準備をしてきました。

今回も使用したワークステーションはアミン株式会社の協力により Ziostation2 を使用させて頂きましたが、実際にこのワークステーションを使用したことがない受講者の方や、日頃3D画像作成を行っていない方などもいましたが、分科会の委員やアミン株式会社の皆さまのサポートにより予定通りに実習を行うことが出来ました。セミナー終了後には、受講者の方から次年度もセミナー開催があれば参加したいと言って頂いた方もいらっしゃり、関係者全員安堵しております。画像等手術支援分科会のハンズオンセミナーは次年度埼玉で開催する第35回日本診療放射線技師学会でも行う予定です。昨年の函館、そして今年の下関でのセミナーの経験を活かして、セミナーを初級編

と中級編に分けるなど、充実したハンズオンセミナーを開催したいと思っています。また多くの傍観者の方にも参加して頂けるよう、会場の確保も調整中です。

来年、学術大会に参加予定の方で本セミナーに興味がありましたら是非参加をお待ちしております。またいつもハンズオンセミナーに協力して頂いているアミン株式会社の皆さまには本当に感謝です。



ハンズオンのセミナーの風景

多くの傍観者もあり、会場は賑わっていました。



受講者の皆さんと集合写真



画像等手術支援分科会メンバー（口述発表で1名不在）